Chapter 42 : **闇の二百年**

ティンカトンにモグラ叩きされた直後、そしてゲンガーが贖罪を果たす少し前のこと――

ダークライは200年間、夢の中に閉じ込められていた。自らの精神牢獄にて眠り続けていたのだ。

その刑期の69年目、彼はポケモン全体への復讐を思い描くようになった。ひねくれたビジョンが脳裏に現れる。それは――

「TIMI TIMMY社」

復讐の炎に包まれながらも、あまりの名前のダサさにダークライはしかめ面をした。  
だが、何か…何かが彼をその名へと引き寄せた。

念力を使い、意識を街から遠く離れた地へ投影する。そこに「ダークキャッスル」の建設予定地をマークした。次なるガチャマシンが再出現すると予測した地点だった。

そして200年目。彼は現実世界で目覚めた。

それから数ヶ月、彼は静かに城を築き、曖昧な研究に没頭していた。  
――そして、ついにその時が訪れた。

バリヤードの敗北後、レックウザが三度目の死を遂げたその日、予見どおり、ガチャマシンが復活した。

だが、ダークライはまだ準備が整っていなかった。

さらに数ヶ月を費やし、彼はその仕組みを学び、破損したAIスクリプトやバグまみれの召喚記録を読み漁った。

そして今――  
ビーチでの平和が過ぎ去ったあと、  
ついに、最後の鍵が完成した。

それは「支配」。

スカミーなドラゴン、レックウザが――  
四度目の召喚で、再びこの世界に解き放たれる。

【つづく――】